

10年先も住み続けたい、わがまち（むら）づくりのお手伝い



中山間タイムズ

第2号
発行

(令和5年6月22日 発行)
富山県中山間地域対策課

1面：チラシ作成講座開催
2面：中山間地域チャレンジ事業採択決定



講師の佐久間智之さん



講義に聴き入る来場者

「伝わらない情報は存在しないのと同じ」

6月18日、富山市新

総曲輪の県民会館で

「PRDESIGN JAPAN」代

表・佐久間智之さんを迎え、地域が自身で情報発信するときに有効なチラシ作りの研修が直接来場やオンラインで約90人の参加で開催されました。この研修は、「作成したチラシに反応が薄い」、「書体・デザインをどうすれば良いかわからない」との声に答えて当該が企画したものです。

パッと伝わるチラシ作成術開催

令和5年度第1回中山間地域サポート人材育成研修



BEFORE



AFTER

サンプルのチラシをリメイク

講師の佐久間さんは、埼玉県三芳町の職員時代に同町の広報誌を「日本一読まれる広報誌」と呼ばれるまでに発展、全国広報コンクール内閣総理大臣賞を受賞されました。今研修会では経験を活かし、そのテクニックを参加者の質問や疑問に答えながら披露しました。フロント選びからデザイン、そしてサンプルに提供いただいたチラシのリメイクなど実践的な内容となりました。来場者は、「大変参考になった。早速公民館の案内作成に使いたい。今回のような機会があれば是非また参加したい」と話していました。

令和5年度

中山間地域

チャレンジ支援事業

採択決定

県内14事業



R3 同事業を利用して平(南砺市)では高校生による映画が制作されました。



採択された14団体の詳細は上記よりご確認下さい。

6月1日、富山県民会館(富山市新総曲輪)で令和5年度・中山間地域チャレンジ支援事業推進委員会が開催され、県内から応募のあった14の団体の事業が審査されました。

この事業は、地域の活性化に対して取り組む集落や団体がチャレンジする事業を県として支援するもので、平成23年から令和5年までで県内各地で100の事業が採択されました。その内容も地域での花の植栽やカフェ開設など多岐にわたっています。

審査の結果採択された太美山地域(南砺市)の渡辺太さんは「決定するまでどきどきしていたが、決まってくれたい。さっそく地域の為に活用していきたい」と話していました。

中山間地印良品 ②



砺波市(雄神)の玉ねぎは10月に植え付けられ翌6月に収穫される。冬を跨ぐため「雪たまねぎ」や「寒玉ねぎ」とも呼ばれる。生産者の藤井美知子さんによれば、同地の玉ねぎは、水分が多く柔らかく甘みが強いのが特徴で、今年は雪解けが早かった為か、より大きく育ち出来もよいとのこと。

砺波市(雄神)の玉ねぎ

中山間地の催事 ①



富山の祭り百選にも選ばれ、毎年6月21日に開催される。

大蛇に嫁いだ娘「お光」の伝説を再現し、大蛇の化身の若侍と花嫁衣裳の「お光」らが地区内を練り歩く。江戸後期の行事「御蔭様」を起源とし、昭和63年より現在の形となる。新型コロナの影響で今回は4年ぶりの開催。

愛本姫社まつり
(黒部市宇奈月下立)

地域のご紹介